

一般社団法人管路診断コンサルタント協会 管路診断の専門家集団として

【沿革・概要】平成10年、管路構造物の計画的な改築・修繕に関するコンサルティング業務の確立を目指し、関東一円で下水道管路施設の設計業務を受託していたコンサルタントが中心となり発足。平成21年に一般社団法人化。管路構造物の耐久性を適切に評価する調査・診断、それに基づく最適な改築・修繕工法とその材料等の研究開発を含め、計画的な改築更新事業の実践に向け管路構造物診断技術に係る総合システムの構築を手掛ける専門



山崎義広

技術者集団。高解像度管口・マンホール調査カメラ「管診鏡」の販売窓口をはじめ、管路構造物の診断業務に関する情報収集や診断機器の活用に伴う技術開発などに加え諸官庁、研究機関および関係大学との協同研究開発や海外との技術交流、海外技術研修、改築・修繕技術および技能に関する調査、情報交換、広報活動、印刷物の刊行など幅広い活動を展開している。活動成果として、公的指針を補完する形で協会独自の技術マニュアル・積算資料類の作成・普及などを実施してきた。

【基礎データ】①平成21年②〒112-0002 東京都文京区小石川5-5-5プライム茗荷谷ビル③TEL 03-5810-1921 / FAX 同-1922④管診協⑤83(社員)

【役員】▽会長(代表理事) 山崎義広(三水コンサルタント社長)▽副会長 村上雅亮(NJS社長) / 角田五郎(コーセツコンサルタント社長) / 武部茂(総務委員長、富洋設計会長)